

中期計画	年次目標（年次報告）
<p>フェローシップ、外国人会員、そしてその先</p> <ul style="list-style-type: none"> フェローシップが科学的卓越性を代表するものとなるような活動プログラムを実施する 協会の業務と業務プログラムに対するフェローの視点を探る フェローシップとの緊密な関係を構築する フェロー、補助金受領者等の協会活動への参加を引き続き強化する 	<p>フェローシップと外国人会員</p> <ul style="list-style-type: none"> フェローシップおよび外国人会員への選出を通じて科学者の業績を継続的に評価し、幅広い科学分野および背景にわたる研究の卓越性の代表性を高めるよう努める。 最初の2回のフェローシップ・フォーラムの成功を基に、協会は引き続き年に2回のフェローシップ・フォーラムを開催し、フェローおよび外国人会員との地域的な関係を拡大および強化する。次のフェローシップ・フォーラムは、2024/25年にマンチェスターで開催される。 当初は2023年後半に予定されていたフェローの外部調査を委託する計画は、調査方法の範囲を定めて改良するための十分な時間を確保するために延期された。協会は現在、この調査を2024年後半に実施することを目指しており、これによりフェローの専門分野と関心のより詳細な情報が得られ、継続的な関与活動に役立てられる。
<p>影響力</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学の政策環境の健全性を確保するための作業プログラムを実施する 国際機関を含む意思決定者たちに科学的根拠をより広く認識させるために注目度の高い活動プログラムを支援する あらゆる分野の意思決定者の課題を浮き彫りにする 	<p>影響力ー英国及び国際</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学への持続可能な長期投資と、この分野における強力な人材のパイプラインを確保することの重要性を強調するために、政府や政治的立場を問わず政策立案者と引き続き協力していく。 2024年4月にイタリアのローマで開催されるG7の科学関与グループであるS7サミットやS20サミットなど、二国間および多国間のフォーラムでパートナー組織と連携していく。 2024年春には、既存のプラスチック汚染を水環境から除去するために設計された新たな介入の背後にある科学を紹介する、レガシープラスチックに関する新しいレポートを発表する。 私たちのレポート「科学外交の新たなフロンティア」の出版15周

	<p>年を記念して、王立協会の代表者は、国際政府科学顧問ネットワーク（INGSA）の年次会議に出席し、科学外交の現状に関する円卓会議を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2024年7月に、王立協会が国際活動に専念する役職を設けてから300周年、また国際問題に専念する副会長の役職を設けてから200周年を記念する会議を開催する。
<p>研究システムと文化</p> <ul style="list-style-type: none"> 英国の科学システムの資金、ガバナンス、方向性に関する長期的なコンセンサスを推進する フェローシップの拡大や助成金を通じて卓越した研究を直接支援し続ける 卓越性と質を育む研究文化を促進するためにあらゆる手段を駆使する 科学者のキャリアにおける一貫性と公平性の向上を支援する 若手研究者の見識を活用していく 科学者の平等、多様性、包括性の向上に努める 	<p>研究システムと文化</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年の試験的成功に続き、キャリア開発フェローシップ・プログラムの第2期が2024年秋に開始する。 オープンアクセスモデルへの移行に向け、出版活動の見直しを行う。 大学研究フェローシップの最新の期の面接は2024年4月に行われ、英国全土から優秀な研究者が集まる。 新しいファラデー・ディスカバリー・フェローシップの応募が2024年8月に開始され、第1期の任命は2025年に行う。
<p>科学と社会</p> <ul style="list-style-type: none"> より広範な市民参加と双方向対話へのアプローチを維持する 国内外の公共生活その他の主要部門への科学の提供を拡大する グローバル・イシュー・プログラムと一般参加型プログラムの相乗効果の開発に取り組み、対話を通じてより深い見識を促進する リスク、不確実性、科学的手法の特徴などのテーマを取り上げた集中的な活動を展開する 適切なパートナーとともに学校における教育政策とプロジェクトに引き続き取り組む 	<p>科学と社会</p> <ul style="list-style-type: none"> 2024年夏季科学博覧会の準備はすでに始まっており、講演とイベントの全プログラムを2024年5月に発表する。 2024年4月に、障害者支援技術としてのスマートホームデバイスの技術的、倫理的、ユーザー・エクスペリエンスに関する考慮事項に関するワークショップを開催する。 2024年学校パートナーシップ助成金制度の初回申請は2024年4月に開始され、学校や大学に最大3,000ポンドが支給され、学術界や業界のSTEM専門家と協力して調査的なSTEMプロジェクトを実施する。

コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンス
<ul style="list-style-type: none">・ 最高水準のチャリティ・ガバナンスを目指す・ 人材と文化に関する取り組みを推進する・ 独立性を維持しつつ、野心的な活動プログラムを追求することを可能にする資金調達戦略を策定する・ デジタル機能の開発を継続する	<ul style="list-style-type: none">・ 今後1年間、評議会、ボード、役員および委員会の役割と責任を明確にし、新たな報告および監督体制を定着させるというガバナンスの有効性レビューからの提言を社会化し、実施する。一般目的委員会が運営上の問題を主導することで、評議会の能力を解放し、戦略的に重要な問題に集中できるようにする。・ 2年に1度の職員調査の次回は2024年夏に実施する。・ 二酸化炭素排出量の報告範囲を拡大し、活動の環境への影響を削減するための詳細な行動計画を策定する。